

シラバス

2024年度版



鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	國分 壮一	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
科目名	鍼灸基礎実技 (実務経験のある教員)	曜日・時間	月曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 基本的な実技を学習・訓練してもらいます。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	購入物の紹介と説明
3	1. 施術上の注意①
4	1. 施術上の注意②
5	2. 鍼の基本実技
6	3. 灸の基本実技
7	実習
8	実習
9	実習
10	実習
11	実習
12	実習
13	実習
14	前期実技試験
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	3) 刺鍼中の手技①
2	実技
3	実技
4	実技
5	3) 刺鍼中の手技②
6	実技
7	実技
8	実技
9	4. 身体各部の施灸
10	実技
11	実技
12	実技
13	実技
14	後期実技試験
15	評価・点検

評価方法	出席・定期試験(2回実施)により評価する。
授業の進め方	配布するプリントとプレゼンテーションにより行う。
注意 (学生に望むこと)	実技と理論の習得と実技中の集中力を取得してほしい。
テキスト・参考書	指定された教科書とテキストを用いる。

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	浦山 きか	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	中国語	曜日・時間	A組) 月曜日 10:50～ B組) 月曜日 9:10～

【授業概要・目標】 中国語の発音と基本的な文法を理解する。医学に使える中国語の知識を得る。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	授業概要とオリエンテーション
2	発音1 声調と韻母
3	発音2 声母
4	発音3 二文字以上の発音
5	テキスト6課 あいさつと自己紹介
6	テキスト6課 応用
7	テキスト7課 「有」の用法
8	テキスト7課 応用
9	テキスト8課 「在」の用法
10	テキスト8課 応用
11	テキスト9課 形容詞述語文
12	テキスト9課 応用
13	発音のまとめと試験
14	文法のまとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	授業概要とオリエンテーション
2	テキスト10課 助詞
3	テキスト10課 応用
4	テキスト11課 「是～的」
5	テキスト11課 応用
6	テキスト12課 量詞と数
7	テキスト12課 応用
8	テキスト13課 曜日と年月日
9	テキスト13課 応用
10	テキスト14課 動態助詞
11	テキスト14課 助動詞
12	発音のまとめと試験
13	テキスト文法のまとめ
14	テキスト作文のまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	期末試験6割、発音と発表4割
授業の進め方	基本的にテキストにそって進む
注意 (学生に望むこと)	テキストの問題を解くだけでなく普段から中国の言語や文化に興味を持ってください。
テキスト・参考書	王宇南ほか『メディカル初級実践中国語』朝日出版社

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋はるか・伊東太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	臨床実習 I	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(後期)

【授業概要・目標】 ①患者への接遇ができる。 ②基本的な施術準備ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	-
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	-
12	-
13	-
14	-
◆	-
15	-

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋 はるか (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	生理学 I	曜日・時間	火曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 人体の生理機能について学習し、その意義と調節機構を理解する。
 生理学の基本知識を習得し、他の教科や2年次以降の学習の基礎を固めることを目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 第1章:生理学の基礎1
2	第1章:生理学の基礎2
3	第1章:生理学の基礎3
4	第2章:循環1
5	第2章:循環2
6	第2章:循環3
7	第2章:循環4
8	第2章:循環5
9	第2章:循環6
10	第2章:循環7
11	第3章:呼吸1
12	第3章:呼吸2
13	第3章:呼吸3
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第4章:消化と吸収1
2	第4章:消化と吸収2
3	第4章:消化と吸収3
4	第4章:消化と吸収4
5	第4章:消化と吸収5
6	第5章:代謝1
7	第5章:代謝2
8	第5章:代謝3
9	第6章:体温1
10	第6章:体温2
11	第7章:排泄1
12	第7章:排泄2
13	第7章:排泄3
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果を元に行う。
授業の進め方	教科書を元に、適宜板書・プリント配布を行いながら授業を進める。 また、一部課題を出して理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	予習・復習を行い、授業外でも理解を深めるよう努力してほしい。
テキスト・参考書	「生理学 第3版」医歯薬出版株式会社

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	渡部 正司 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	生理学Ⅱ	曜日・時間	火曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 本科目は生体の機能を学ぶものであり、極めて重要で全教科に及ぶ基礎医学分野である。そのため、用語や定義等を理解する必要がある。各テーマについて個々の理解はもとより図化できるかが理解の鍵になる。理解を深めるために資料を示し、教科書を補足する。語句の理解に加え図式化ができることを目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第10章 神経 ニューロンの構造と働き
2	第10章 神経 興奮伝導
3	第10章 神経 シナプス伝達・中枢神経系
4	第10章 神経 反射・脊髄・脳幹
5	第10章 神経 小脳・視床・視床下部
6	第10章 神経 大脳・脳脊髄液
7	第10章 神経 末梢神経系
8	第10章 神経 自律神経系
9	第10章 神経 自律神経系
10	第11章 筋 構造と働き・収縮の仕組み
11	第11章 筋 エネルギー供給・心筋と平滑筋
12	第12章 運動 骨格筋の神経支配
13	第12章 運動 骨格筋の神経支配
14	第12章 運動 運動の調節
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第12章 運動 錐体路系と錐体外路系・発声と言語
2	第13章 感覚 分類と性質・体性/内臓感覚
3	第13章 感覚 痛覚
4	第13章 感覚 味覚・嗅覚・聴覚
5	第13章 感覚 平衡感覚・視覚
6	第8章 内分泌 ホルモンの特徴
7	第8章 内分泌 種類と働き
8	第8章 内分泌 種類と働き
9	第8章 内分泌 種類と働き
10	第9章 生殖・成長と老化 生殖・妊娠・出産
11	第9章 生殖・成長と老化 成長・老化
12	第14章 生体の防御機構 自然／獲得免疫
13	第14章 生体の防御機構 免疫反応
14	第15章 身体運動の協調
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験、出席
授業の進め方	教科書を補足する資料を示して解説する。
注意 (学生に望むこと)	全教科の基礎です。図化して説明ができるように理解して下さい。
テキスト・参考書	東洋療法学校協会編. 生理学. 第3版, 医歯薬出版, 2014.

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	川嶋 睦子 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	東洋医学概論 I	曜日・時間	火曜日 13:10～

【授業概要・目標】 前期は東洋医学の基礎概念となる陰陽五行学説、生理物質について学ぶ。 後期は各臓象の生理・病理を学び、2学年で学ぶ病証への足掛かりを作る。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	人体の見方、東洋医学的治療 (p13-28)
3	日本の東洋医学の現状(p29-36)
4	陰陽学説(p181-187)
5	五行学説(p188-200)
6	五行学説(p188-200)
7	中間試験(五行色体表・陰陽分類)
8	生理物質<精の生理・病理> (p37-42)
9	生理物質<気の生理> (p42-46)
10	生理物質<気の病理>(p46-50)
11	生理物質<血の生理・病理> (p50-53)
12	生理物質<津液の生理・病理> (p54-58)
13	生理物質の相互関係(p58-62)
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神の概念・生理・病理(p62-68)
2	人体による陰陽 (p68-73)
3	臓象学説、肝系統 (p74-87)
4	肝系統<生理・病理> (p77-87)
5	心系統<生理・病理> (p87-97)
6	心系統<生理・病理> (p87-97)
7	脾系統<生理・病理> (p97-106)
8	脾系統<生理・病理> (p97-106)
9	肺系統<生理・病理> (p106-115)
10	肺系統<生理・病理> (p106-115)
11	腎系統<生理・病理> (p115-125)
12	腎系統<生理・病理> (p115-125)
13	三焦(p125-127)
14	前期・後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果を元に評価する。(前期は中間試験も含む)
授業の進め方	教科書を元に進め、適宜プリント配布や課題を出して理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学独特の概念を最初から理解することは非常に難しいため、 世界観に慣れる為にも教科書の習熟に努めてほしい。
テキスト・参考書	『新版 東洋医学概論』 医道の日本社

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	大槻 健蔵	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	自然科学概論(半期)	曜日・時間	前期) 火曜日 14:50～

【授業概要・目標】			
<p>(1)我が国は、大地震と津波だけでなく地球温暖化が進み「異常気象」による巨大台風や豪雨による大災害が多発している。被災時の「身の安全」を第一に、被災住民へのボランティア活動(特に体力、知力と協力のある学生達)の重要性を知る。</p> <p>(2)生命体を構成する細胞の増殖の仕組みと遺伝情報(遺伝子)の発現(タンパク質の合成)および「タンパク質(機能性因子)の生理機能」を理解する。</p> <p>(3)病原微生物(細菌とウイルス)による感染症の発症と世界的な拡大を理解する。</p> <p>(4)多種多彩な食品添加物、農薬、化粧品、人工甘味料や香料などの過剰摂取による「危険性とがん化の促進」を正確に理解して、安全な範囲内で上手く活用する。</p> <p>(5)ヒトの「健康」は、「免疫(生体防御)」によって維持されていることを理解する。</p> <p>最終的に「自然科学概論」とは、どんなことを学ぶ「教科」かを理解する。</p>			

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	序論-1. 地球温暖化の要因、異常気象による自然災害の多発および生態系の変化
2	2. 能登半島地震と東日本大地震から学ぶべき重要課題および被災住民への支援協力の重要性、さらに近い将来予測されている南海トラフ巨大地震
3	3. 世界の環境汚染(大気汚染、PM2.5汚染、有機フッ素化合物(PFAS)やプラスチックゴミの海洋汚染など)による「健康問題と安全な飲料水や食材の確保」
4	各論-1. 生命の誕生と多様な生物種への「進化」および生命活動(細胞増殖、代謝と遺伝子発現)の仕組み
5	2. 生物に重要なタンパク質(機能性因子)の種類と化学的特徴および生理機能
6	3. 自然界と体内に生存する多種多様な「微生物」の生物学的特徴と生理的役割
7	4. DNAとRNAウイルスの生物学的な特徴(違い)、細胞内での「ウイルス増殖の仕組み」および感染症を世界に拡大させる変異株の特徴(感染力)
8	5. 食中毒を起こす「細菌とウイルス」の特徴、食材と感染ルートおよび予防策
9	6. 性感染症の「起因微生物の特徴と感染拡大の要因」および感染予防
10	7. 彩色野菜、果物、緑茶やコーヒーなどに多く含むフィトケミカル(ポリフェノール化合物:非栄養素)の化学的特徴と抗酸化作用の重要性
11	8. 多種多彩な食品添加物、農薬、化粧品や人工甘味料と香料などの長期間の過剰摂取による「アレルギー症、免疫低下やがん化の促進」
12	9. タバコの「副流煙」に含まれる多様な有害物質の「健康害と発がん作用」
13	10. 生体防御(免疫)の仕組みと免疫の調節に対する体温、運動、睡眠、加齢やストレスなどによる様々な作用効果および「ワクチン」の感染症予防
14	11. 様々な薬剤の「薬理作用と副作用」および「正しい使い方(活用法)」 12. 全授業内容の「まとめ」の配布(本教科の試験勉強に活用して下さい)
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	13. 試験は、記述による説明で行い採点結果を「評価」します。成績不良の皆さんに対して再試験前に正確な理解と記述による説明の仕方を解説します。

評価方法	筆記試験の成績、積極的な質問回数および出席日数により総合的に「評価」する。
授業の進め方	配布資料を用いてPower pointで行います。毎回、「質問の時間」を設けます。配布資料は毎回数日前に配布しますので、予めよく見てから授業に臨んで下さい。
注意 (学生に望むこと)	授業では、どんなことでも遠慮なく「質問」して正確に理解する様にして下さい。
テキスト・参考書	<p>下記の「参考書」に興味ある方は、大槻に早めに申し出て下さい(本をお貸します)。</p> <p>1)「やさしい基礎生物学」南雲 保編集 羊土社(2017年3月、第4刷発行)</p> <p>2)「がん細胞の誕生」黒木登志夫著 朝日選書(1989年8月)</p> <p>3)「遺伝子が語る生命像」現代人のための最新 本庶 佑著Blue Backs(2013年1月)</p> <p>4)「腸内細菌の役割」藤田紘一郎著(腸内細菌に関する著書多数あり、2015年1月)</p> <p>5)「これならわかる免疫学」安保 徹著 ナツメ社(2010年8月)</p> <p>6)「ガンより怖い薬剤耐性菌」三瀬勝利、内山一也著 集英社新書(2017年6月)</p>

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	長岡 靖彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	経絡経穴概論Ⅱ(半期)	曜日・時間	後期) 火曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 要穴の概要と意義について学習し、臨床に応用できるようになる。経穴⇔要穴を言える・書けるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	要穴総論: 要穴の意義、分類
2	五要穴(1)原穴、郄穴
3	五要穴(2)絡穴、募穴、背部俞穴
4	五要穴(3)各論②:
5	五俞穴と五行穴(1)総論、五俞穴
6	五俞穴と五行穴(2)五行穴
7	その他の要穴(1)四総穴、八会穴
8	その他の要穴(2)八脈交会穴
9	その他の要穴(3)八脈交会穴交会穴
10	その他の要穴(4)交会穴、下合穴
11	経絡経穴の現代的研究(1)
12	経絡経穴の現代的研究(2)
13	経絡経穴の現代的研究(3)
14	経絡経穴の現代的研究(4)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	プレゼンテーションと板書を活用し講義形式で行う。毎回、各自の学習度確認のための復習テストを行なう。
注意 (学生に望むこと)	この授業で最低限覚えるべきことは限られている。どのようにして記憶するか、各自に合ったやり方で長期記憶に落とし込んで欲しい。
テキスト・参考書	『経絡経穴概論』東洋療法学校協会編

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	笹野 泰之	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	解剖学Ⅱ	曜日・時間	水曜日 9:10～

【授業概要・目標】
筋系、神経系および感覚器系の解剖学について講義する。教科書の該当箇所に記載されている内容を理解し、知識として定着させることを目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	筋系総論
2	頭部の筋
3	頸部の筋
4	胸部の筋
5	腹部の筋・会陰筋
6	背筋
7	上肢の筋(1)
8	上肢の筋(2)
9	上肢の筋(3)
10	下肢の筋(1)
11	下肢の筋(2)
12	下肢の筋(3)
13	下肢の筋(4)
14	筋系のまとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神経系総論・脊髄
2	延髄・橋・中脳
3	小脳・間脳・大脳(1)
4	大脳(2)・脳室系等
5	脊髄神経総論
6	頸神経叢・腕神経叢
7	肋間神経・腰神経叢
8	仙骨神経叢(1)
9	仙骨神経叢(2)・脳神経総論
10	脳神経各論(1)
11	脳神経各論(2)
12	脳神経各論(3)・自律神経系
13	伝導路・感覚器系
14	神経系のまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席と前期試験および後期試験の成績による。
授業の進め方	教科書の内容に沿って進める。
注意 (学生に望むこと)	十分に復習すること。
テキスト・参考書	解剖学 第2版 社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	煙山 貴之 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	衛生学・公衆衛生学	曜日・時間	水曜日 10:50～

【授業概要・目標】 人間の生存に影響を及ぼすさまざまな関連要因をふまえ、健康の保持・増進について学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	衛生学・公衆衛生学の意義
3	健康の概要
4	健康管理、健康増進
5	医療制度と医療保障
6	食品の意義と食生活
7	食品と疾病
8	食中毒-1
9	食中毒-2
10	環境
11	環境要因-1
12	環境要因-2
13	環境問題-1
14	環境問題-2
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	産業保健
2	精神保健
3	保健統計-1
4	保健統計-2
5	母子保健
6	学校保健
7	成人・高齢者保健
8	生活習慣病
9	感染症-1
10	感染症-2
11	感染症-3
12	消毒法-1
13	消毒法-2
14	疫学
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	講義形式であるが、対話的に行う。
注意 (学生に望むこと)	統計などは毎年新しくなることに注意する。
テキスト・参考書	衛生学・公衆衛生学

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	柏倉 利一 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
科目名	按摩マッサージ指圧基礎実技 I	曜日・時間	水曜日 13:10～

【授業概要・目標】
臨床に必要な知識、基本手技の習得を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	あん摩の意義 実技 手拳叩打法
2	あん摩の意義、沿革 実技 叩打、合掌、
3	実技 叩打、合掌、切打 曲手法
4	軽擦法の種類、留意点 軽擦法の実技
5	揉捏法の種類、留意点 揉捏法の実技
6	手技の留意点 肩背の施術
7	軽擦法の生理作用 軽擦法の実技
8	揉捏法、圧迫法の生理作用 軽擦法の実技
9	その他の生理作用 腰部の実技
10	肩背部、腰部の実技
11	肩背部、腰部の実技
12	上肢の施術実技
13	上肢の施術実技
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の総復習(打法、曲手)
2	肩背部、上肢、腰部の実技
3	五作用について 下肢の施術実技
4	あん摩の治療効果 下肢の施術実技
5	五作用について 下肢の施術実技
6	古法あん摩 現在までの実技復習
7	禁忌症について 頸部の実技
8	頸部の実技
9	頸部の実技 施術上の注意
10	頭部の実技
11	頸部、頭部の実技
12	前期、後期の実技の復習
13	前期、後期の実技の復習
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	授業の実技の取り組む姿勢・課題目標明確にする
授業の進め方	授業は理論と実技を組み合わせる
注意 (学生に望むこと)	課外練習を望みます
テキスト・参考書	『あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞』『あん摩マッサージ指圧理論』、 プリント中心に進める。

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	武藤 永治 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
科目名	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	曜日・時間	水曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 指圧の基本手技を実技・理論共に理解し、実践できる。
 全身各部位を指圧できる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	指圧の意義、基本手技①、 施術上の注意、身体を診る①
2	あま指の意義・沿革・相違点 基本手技②、身体を診る②
3	基本手技③、運動操作、 身体を診る③
4	肩背部 坐位①～⑤
5	肩背部 伏臥位①～③
6	下肢部 伏臥位①～⑦
7	下肢部 伏臥位⑧～⑩
8	下肢部 仰臥位①～⑦
9	下肢部 仰臥位⑧～⑪
10	頭部 坐位・伏臥位・仰臥位
11	頸部 坐位・伏臥位
12	前期総復習
13	筆記試験・実技試験練習
14	実技試験
15	評価点検、前期復習

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	上肢部 仰臥位①～⑥
2	上肢部 仰臥位⑦～⑪
3	顔面部・胸部
4	腹部
5	肩背部 側臥位①～③ 頸部 側臥位①～④
6	肩背部・頸部 復習
7	頭頸部 復習
8	総復習～全身施術
9	総復習～全身施術
10	問診～施術・運動操作～確認
11	問診～施術・運動操作～確認
12	問診～施術・運動操作～確認
13	筆記試験・実技試験練習
14	実技試験
15	評価点検、指圧実技応用

評価方法	実技試験、筆記試験
授業の進め方	学生自身が反復して行うことが重要なので、学生主体で進めていく。 はじめはテキストなどを用いて筋肉や骨の確認もしていく。
注意 (学生に望むこと)	(1)実技は授業時間だけではうまくなりません。日々の練習が必須。 (2)白衣はきちんと着用し、清潔な環境づくりに努めること。
テキスト・参考書	プリント、あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、あん摩マッサージ指圧理論 解剖関係のテキストやアプリの準備(各自使いやすいもので可)

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	東洋医学概論Ⅱ	曜日・時間	木曜日 9:10～

【授業概要・目標】
東洋医学の歴史、中医学以外の東洋医学の知識の理解。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	東洋医学の概要
2	中国医学の概要
3	アーユルヴェーダとは、ドーシャ・五大元素とは、ヴァータ体質について
4	ピッタ体質、カパ体質について
5	生理的ドーシャの動き、病理的ドーシャの動き
6	各ドーシャの過剰、病の派生
7	心の属性について、ヴァータ体質による浄性の優劣
8	ピッタ体質の浄性の優劣、カパ体質の浄性の優劣、カースト・グナ・ドーシャの関係
9	カースト制にみる適職判断、本当のカースト制の意義
10	複合体質に関する浄性の優劣
11	診断・施術の流れ (概要、ヴァータ疾患)
12	診断・施術の流れ(ピッタ・カパ疾患)
13	治療に求められる人格(良い医者、悪い医者、患者の資質)
14	アーユルヴェーダの施術点「マルマ」について、武術と医術の関連性
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	東洋医学の起源、陰陽五行について①
2	東洋医学の起源、陰陽五行について②
3	中医学治療の概要、地域別の治療、九鍼
4	灸法、手技、湯液
5	医療人の心得、治未病、養生、治療原則
6	中医学の歴史と医書①
7	中医学の歴史と医書②
8	日本の東洋医学の歴史①
9	日本の東洋医学の歴史②
10	日本の東洋医学の現状①
11	日本の東洋医学の現状②
12	柔道整復師の歴史と変遷①
13	柔道整復師の歴史と変遷②
14	後期復習・質疑応答
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	パワーポイントのスライド、板書、配布資料
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	配布資料、『新版 東洋医学概論』

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	解剖学Ⅲ	曜日・時間	木曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 人体の白地図に解剖学的構造を描き、名称を書くことができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス、運動器系総論
2	骨格系総論
3	上肢の骨格Ⅰ
4	上肢の骨格Ⅱ
5	下肢の骨格Ⅰ
6	下肢の骨格Ⅱ
7	体幹の骨格Ⅰ
8	体幹の骨格Ⅱ
9	体幹の骨格Ⅲ
10	関節学Ⅰ
11	関節学Ⅱ
12	関節学Ⅲ
13	前期まとめ
14	試験対策
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	体表解剖Ⅰ
2	体表解剖Ⅱ
3	神経系Ⅰ
4	神経系Ⅱ
5	神経系Ⅲ
6	脈管系Ⅰ
7	脈管系Ⅱ
8	脈管系Ⅲ
9	局所解剖Ⅰ
10	局所解剖Ⅱ
11	局所解剖Ⅲ
12	局所解剖Ⅳ
13	後期まとめ
14	試験対策
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

評価方法	毎回行う小テストの結果および定期試験で評価する。
授業の進め方	スライドと板書で行う。
注意 (学生に望むこと)	暗記項目が多いため、自己学習が基本となります。 毎回の小テストの項目を覚えてくる事。
テキスト・参考書	「解剖学 第2版」(医歯薬出版株式会社)

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	佐々木 和代	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	経絡経穴概論 I	曜日・時間	木曜日 13:10～

【授業概要・目標】
 経絡・経穴の基礎および十四経脈の流注・種類・機能、その経穴の名称・部位、骨度等を総合的に学習する。経穴361穴暗唱。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション(授業・試験について)、経絡経穴の基礎
2	〃
3	流注と経穴名(肺経・大腸経)
4	流注と経穴名(胃経・脾経)
5	流注と経穴名(心経・小腸経)
6	流注と経穴名(膀胱経)
7	流注と経穴名(腎経・心包経)
8	流注と経穴名(三焦経・胆経)
9	流注と経穴名(肝経・督脈・任脈)
10	骨度法
11	〃
12	復習
13	〃
14	前期試験の注意事項
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	後期授業の進め方 背部の経穴名と取穴部位(筋枝)
2	胸部の経穴名と取穴部位(筋枝)
3	上腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
4	下腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
5	肩部・頸部・上腕の経穴名と取穴部位(筋枝)
6	前腕部・手部の経穴名と取穴部位(筋枝)
7	中間テスト
8	復習1
9	下腿部の経穴名と取穴部位(筋枝)
10	大腿部・足部の経穴名と取穴部位(筋枝)
11	顔面部の経穴名と取穴部位(筋枝)
12	頭部の経穴名と取穴部位(筋枝)
13	復習2
14	後期試験の注意事項
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席および試験(定期試験・確認小テスト・経穴暗唱)の結果を総合的に評価する。
授業の進め方	教科書『経絡・経穴概論』を基本に、PowerPoint、板書、資料配布等により授業を進める。
注意 (学生に望むこと)	毎回経穴小テスト(経穴暗唱を含む)を行う。経穴は前期中に361穴覚える。
テキスト・参考書	『経絡・経穴概論』医道の日本社

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	金田一 孝二	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	解剖学 I	曜日・時間	木曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 正常な人体の形態と構造を理解する。特に、細胞と組織、内臓系について学習する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	人体の構成: 人体の区分と方向 解剖学の意義・分類・用語
2	細胞の形態と内部構造
3	細胞分裂: 細胞周期・染色体・減数分裂
4	遺伝子: 核酸・遺伝情報・情報の伝達
5	上皮組織1: 概説
6	上皮組織2: 細胞間結合装置・内・外分泌腺
7	結合組織1: 概説
8	結合組織2: 軟骨・骨組織
9	血液とリンパ
10	筋組織総論
11	神経組織総論
12	皮膚: 構造・神経・血管・毛・爪・皮膚腺
13	循環器系概説・血管の構造・ 動脈・静脈
14	心臓、刺激伝導系、心臓の血管
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	動脈系・静脈系・門脈系・胎児循環
2	リンパ系
3	呼吸器系1 鼻腔・咽頭・喉頭
4	呼吸器系2 気管・気管支・肺
5	消化器系1 口唇・口腔・舌
6	消化器系2 歯・唾液腺・咽頭・食道
7	消化器系3 胃・小腸(十二指腸)
8	消化器系4 小腸(空腸、回腸)・ 大腸・肛門
9	消化器系5 肝臓・膵臓・胆嚢
10	泌尿器系1 腎臓
11	泌尿器系2 尿管・膀胱・尿道
12	生殖器系1 男性生殖器
13	生殖器系2 女性生殖器
14	内分泌系
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験、出席状況、授業態度、小試験、課題提出の総合評価とする。
授業の進め方	教科書中心の講義ではあるが、教科書に記載のない事項まで言及する。
注意 (学生に望むこと)	高校程度の生物学の知識は必要である。解剖学は決して暗記科目ではなく、理解することが大事である。予習復習を確実にし授業に参加すること。課題の提出期限は厳守すること。
テキスト・参考書	解剖学 改訂第2版(医歯薬出版)、その他、随時紹介する。

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋 はるか (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
科目名	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	曜日・時間	金曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 マッサージの基本手技、各部位施術の基本を習得する。また、手技に伴う理論を理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション マッサージの基本手技・打法
2	マッサージの意義と沿革・あま指の相違点 基本手技・打法
3	軽擦法:生理的作用・留意点 基本手技・打法・背部触診
4	揉捏法:生理作用・留意点 基本手技・打法・背部触診
5	圧迫法:生理作用・留意点 基本手技・前腕部・背部触診
6	強擦法:生理作用・留意点 基本手技・手部・背部触診
7	振せん法:生理作用・留意点 基本手技・上腕部・上肢触診
8	叩打法:生理作用・留意点 上肢全体
9	運動法:生理作用、留意点 足部
10	骨盤～下肢触診 下腿部・大腿部
11	下肢触診 臀部、下肢
12	下肢全体
13	全体復習／筆記試験
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	上肢・頸部・頭部の触診／脈 上肢全体
2	下肢・骨盤・背部の触診／脈 下肢全体
3	胸椎・腰椎触診 背腰部①僧帽筋群、広背筋群
4	胸椎・腰椎触診 背腰部②棘下筋群、脊柱起立筋群
5	胸椎・腰椎触診 背腰部全体
6	頸部・頭部
7	頸部・頭部・胸部
8	腹部のしくみ 胸部・腹部
9	背部・腹部
10	問診～主訴部位中心に全身
11	問診～主訴部位中心に全身
12	問診～主訴部位中心に全身
13	全身／筆記試験
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	実技試験・授業への取り組み(70%)、筆記試験(30%)
授業の進め方	マッサージの実技を主にしながら、これに伴う理論を理解できるようにする。
注意 (学生に望むこと)	授業で積極的に取り組むのはもちろんのこと、授業外でも練習をすること。
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞・あん摩マッサージ指圧理論 解剖学資料

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	医療概論(半期)	曜日・時間	前期) 金曜日 13:10~

【授業概要・目標】	
①国家試験の範囲を中心に医療従事者が覚えておくべき知識・倫理などを覚える。	
②医学史を通じて過去から現在へどのように医学が繋がっているか理解する。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス・医療概論とは？
2	現代医学の課題①
3	現代医学の課題②
4	現代の医療制度
5	医療倫理①
6	医療倫理②
7	古代の医学と中世の医学①
8	中世の医学②とルネッサンス
9	17.18世紀の医学
10	19世紀以降の医学
11	中国医学史概説
12	日本医学史概説①
13	日本医学史概説②
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	定期試験の結果にて評価する。
授業の進め方	前半はテキストと問題演習を中心に、後半はスライドを使用しながら進めていく。
注意 (学生に望むこと)	国家試験に必要な事と、医療従事者として覚えておくべき必要な知識なので積極的に授業に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	教科書を中心に、プリントも配布する予定である。

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	業務内容
解剖学Ⅲ	1	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
生理学Ⅰ	1	60	高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
生理学Ⅱ	1	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
衛生学・公衆衛生学	1	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
医療概論	1	30	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学概論Ⅰ	1	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学概論Ⅱ	1	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
経絡経穴概論Ⅱ	1	30	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅰ	1	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	1	60	高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	1	60	武藤 永治	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
鍼灸基礎実技	1	60	國分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅰ	1	45	高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
運動学	2	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
病理学概論	2	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床医学総論	2	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅰ	2	60	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅰ	2	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床経穴論	2	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅱ	2	30	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅰ	2	60	山田 秀一郎	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	2	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	2	60	佐藤 光恵	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅱ	2	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅱ	2	45	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
			高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅲ	2	45	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅱ	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
リハビリテーション医学	3	60	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧理論	3	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅰ	3	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅱ	3	30	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅱ	3	60	浦山 久嗣	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
東洋医学臨床論Ⅰ	3	60	宍戸 新一郎	20年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅱ	3	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅲ	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
東洋医学応用概論	3	60	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧臨床実技	3	60	宮田 正則	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅰ	3	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅲ	3	60	宍戸 新一郎	20年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅳ	3	45	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
合計		2400			